

## 平成26年5月17日（土）の「仏教女性の集い」

今日はお天気に恵まれて過ごしやすい一日でした。五月晴れの中、うぐいすの声を聞きながらの近藤先生のお話は、自然と引き込まれていきます。

前回までは法然上人御法語集からでした。法然上人のお言葉から念仏を申す事の有り難さ・楽しさ・信心のあり方等をたくさん学ばせていただきました。

今回からは法然上人の和歌を通して色々と考え学ばせていただきます。

今日は近藤先生のお知り合いでアメリカ人の方がお見えでした。先生がアメリカ留学中に知り合われたそうです。近藤先生のアメリカ留学体験談をお話し頂く事から御法話は始まりました。

近藤先生は以前、臨済宗のドイツ人禅尼僧と暫く先生のお寺で生活を共にされていたそうです。そして、その尼僧さんがアメリカに帰国をされた後、西海岸にある禅センターに行かれたそうです。お話では禅センターでの生活や座禅の取り組み方が、日本とアメリカではどのように違っていたかを尼僧さんが受けられたカルチャーショックを交えてお話し下さいました。体験談はとても興味深くまた、聞いていて楽しいものでした。

楽しい「時」は早く過ぎて行くもので、お話の時間もあと僅かになり本題に入りました。



### 法然上人の夏の和歌

われはただ ほとけにいつか あふひぐさ ころろのつまに かけぬ日ぞなき

先日、葵祭がありました。葵は昔、アフヒと表記され「出会う日」に繋がります。法然上人は「私は仏にいつ出会えるのだろうか 心にかけてない日はない」と詠まれています。 つま・・・端・妻・夫

佛教大学に「法然仏教学研究」が出来ました。なぜ今、法然上人か？上人の生き様を今もう一度考え直して行くことが大切です。

と、お話しになり今日の御法話が終わりました。

(参加者感想 K. I)

今日のお菓子は「しょうぶ」いつもながら季節感にあふれ、おいしく頂戴しました。



座談会では、御身内を亡くされた方への接し方についてのご相談から始まり、いつも以上に皆さんのお声が聞こえるお茶席でした。



次回の「仏教女性の集い」は平成26年6月21日です。

「仏教女性の集い」は毎月第3土曜日、1時～4時

参加費1,000円 宗教・宗派は問いません。

条件は女性であることだけです。

多数のご参加お待ちしております。

市バス[知恩院前]下車、東へ徒歩150m

『吉水尼僧庵』（旧尼僧道場跡）で開催致しております。

問い合わせは 隆彦院 075-561-7581まで

「仏教女性の集い」の様子は浄土宗吉水会のホームページに掲載しております。

<お知らせ>

近藤先生がご法話下さいました法然上人御法語「前編」が今年出版されます。